

フリーアドレス設定器 取扱説明書

形名：TMAD01A

■ 安全上のご注意

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

[絵表示の例]



◇記号は危険を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

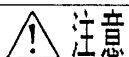


危険

指定以外の電池を使用しないでください。
発煙、火災の恐れがあります。



電池は正しい方向（＋，－）に入れてください。
逆差しすると発煙、火災の恐れがあります。



注意

自分で修理や改造、または分解をしないでください。
無断で改造等をしたことにより生じた事故については
一切責任を負いません。



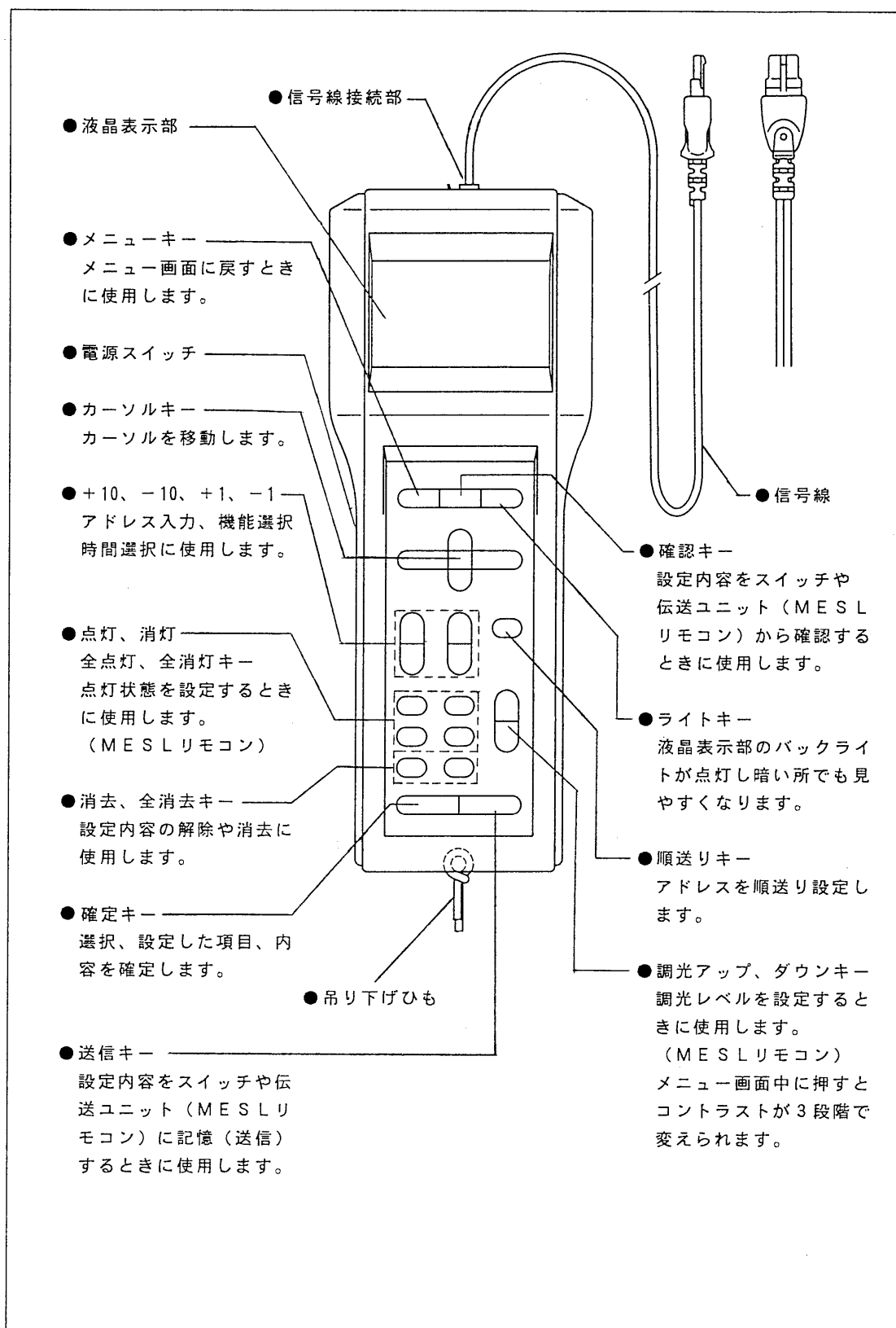
直射日光のあたる所やストーブなどの近くに置かない
でください。



落としたり衝撃を加えたりしないでください。
液晶表示部のガラスが割れたり故障の原因となります。



各部の名称と機能



確認音(ブザー)

ピー	電源スイッチをONにしたとき
ピッ	送信、確認で通信が正しく行われたとき
ピッピッピッ	誤ったキー入力をしたとき 通信異常が発生したとき

機能の説明

注意 本取扱説明書は設定器 V 2. 1 のものです。V 1. 1 の設定器に一部機能が追加されていますのでご注意ください。V 1. 1 以降のものは液晶表示部のメニュー画面右上に表示されます。

機能／アドレス設定機能

- ◆フリーアドレス設定式壁スイッチ（1～4 個用）の機能設定、アドレス設定及び、タイマー機能設定を行うことができます。

スイッチ形番	機 能	タイマー機能 * 1		設定可能アドレス
		一時点灯	消灯遅延	
TMSF01A	個別	0.5分～120分	0.5分～120分	0-1～63-4
TMSF02A	グループ	0.5分～120分	0.5分～120分	0-1～63-4
TMSF03A	パターン	不可	0.5分～120分	0-1～31-4 * 2
TMSF04A	オールオン	不可	不可	固定
	オールオフ	不可	0.5分～120分	固定
TMDS01A	調光（設定済）	不可	不可	0-1～7-4

* 1 タイマー値は 0.5 分、1 分、2 分、3 分、5 分、10 分、15 分、30 分、60 分、120 分を選択できます。

* 2 パターン番号 32-1 以上は設定しないでください。

MESL リモコンシステムの伝送ユニットが TMUD10A、TMUD20A の場合は 0-1～19-4 までです。また、オールオフの消灯遅延はできません。

- ◆フリーアドレス設定式制御 T/U（調光端末器）のアドレス設定及び、フェードイン時間、フェードアウト時間設定を行なうことができます。

制御 T/U 形番	時間設定 * 3		設定可能アドレス
	フェードイン	フェードアウト	
TMIL080A	0秒～60秒	0秒～60秒	0-1～63-4
TMIL160A	0秒～60秒	0秒～60秒	0-1～63-4
TMFL50A	0秒～60秒	0秒～60秒	0-1～63-4
TMTN315A	0秒～60秒	0秒～60秒	0-1～63-4
TMTN335A	0秒～60秒	0秒～60秒	0-1～63-4

* 3 TMTN315A、TMTN335A は内部の機能設定スイッチで照度センサ有り無しを設定できます。照度センサ有りに設定した場合はフェードイン時間は暗→明への動作時間、フェードアウト時間は明→暗への動作時間になります。表示値 × 0.1 秒が動作時間値になります。

- ◆フリーアドレス設定式入力 T/U（接点入力 T/U）のアドレス設定を行なうことができます。

スイッチ割付設定機能

入力 T/U 割付設定機能

スイッチ及び入力 T/U への負荷回路の割付設定をすることができます。

ご使用になるシステム機器により動作する機能が異なりますので、ご使用になる機器と動作する機能対応表をご参照ください。

チェック機能

スイッチ機能と接続端末表示機能があります。

スイッチ機能——設定器を任意のアドレス、機能のスイッチとして動作させることができます。（タイマ動作はできません）

照度設定——照度一定制御システムにおいてエリア毎の照度値を設定、変更することができます。

接続端末表示——接続されている端末器のアドレス（回路番号）を液晶表示部に表示します。ご使用になるシステム機器により動作する機能が異なりますので、機能対応表をご参照ください。

機能対応表

システム機器名	割付設定機能	割付可能負荷回路	チェック機能
MES Lリモコン 伝送ユニット TMUD10A TMUD20A	フリーアドレス設定器 では割付できません。 セレクトスイッチにて 割付設定してください	ON/OFF端末器のみ 0-1～63-4 (セレクトスイッチ使用)	スイッチ機能のみ
MES Lリモコン 伝送ユニット TMUD10NA TMUD20NA	グループ パターン シーン(パターン) * 4 強制パターン 光センサ	ON/OFF端末器、 調光端末器 0-1～63-4 * 5	スイッチ機能 接続端末表示
	調光	調光端末器のみ	
MES L-S 主操作盤	フリーアドレス設定器 では割付できません。 主操作盤にて割付設定 してください。	ON/OFF端末器、 調光端末器 0-1～63-4 * 5 (主操作盤使用)	スイッチ機能 照度設定

* 4 シーンはパターンと同じですが、割付設定時(送信キーを押した時)に負荷が点消灯します。

* 5 ON/OFF 端末器と調光端末器を同アドレス(回路番号)で重複設定することはできません。

その他の機能

画面表示

電池交換表示――電池の電圧が下がってくると画面右上に■マークが表示されます。

■マークが表示されたら電池を交換してください。

伝送電圧表示――伝送線もしくは端末器から電源供給を受けている時に画面右上に⌋マークが表示されます。

バックライト――ライトキーを押すと点灯し、暗い所でも見やすくなります。画面右上に◇マークが表示されます。◇マーク以外が表示されている時は反転表示になります。

ライトキーを押す毎にON/OFFします。

1分以上キー操作が行われないとバックライトは自動的に消灯します。

注意 バックライトの点灯中は電池の消耗は早くなります。

通信中表示――スイッチまたは伝送ユニットとの通信中に画面右上に⊗マークが表示されます。このマークが出ている間はお待ちください。

異常表示――スイッチまたは伝送ユニットとの通信中に異常が発生すると、約2秒間画面に表示してお知らせします。

通信異常です。
接続を確認してもう一度、
操作してください。

順送り

スイッチの機能/アドレス設定やスイッチ機能時に、入力済みのアドレス欄にカーソルを合わせて順送りキーを押すと、次の行に同一機能で+1されたアドレスが入力されます。

同様に割付設定時に順送りキーを押すと、アドレスのみ+1された内容で入力されます。

消去

全消去

消去キーでカーソル上(反転部)の内容を消去することができます。

全消去キーにより液晶画面に表示されている設定内容を全て消去することができます。1回全消去キーを押すと「全て消しますか?」の確認表示が出ますので、実行したい場合は再度全消去キーを押してください。中止したい場合は全消去以外のキーを押してください。

	機能	アドレス	時間(分)
→	個別	21-1	一時0.5
	個別	全て消しますか?	
	個別	21-3	
	個別	21-4	
全消去			

	機能	アドレス	時間(分)
→			
全消去			

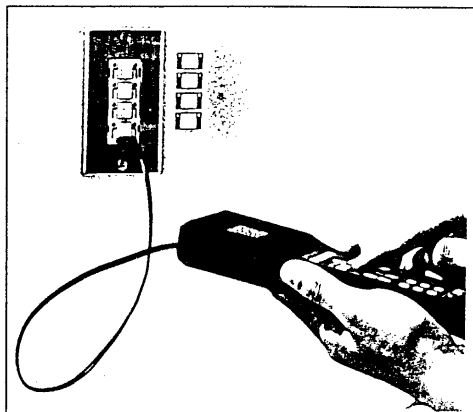
注意

消去、全消去は液晶画面上の表示内容を消去するだけで、スイッチや伝送ユニット(MES Lリモコン)には記憶(送信)されません。

消去内容を反映させるには、送信キーを押してください。

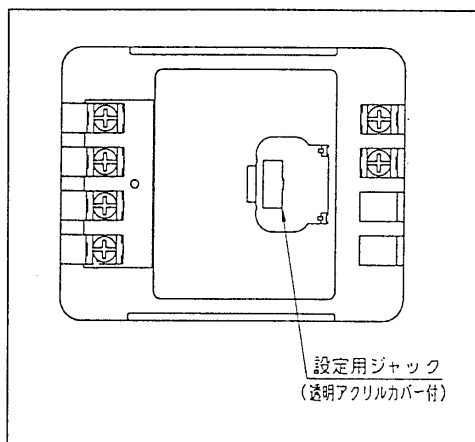
フリーアドレス設定器の接続方法

スイッチの場合



- ①スイッチの化粧カバーを外します。
- ②設定器の信号線プラグをスイッチのジャックに差し込みます。差し込み方向に注意してください。
- ③設定器の電源スイッチをONにします。
システム稼働中はMESL伝送線より給電されます。
- ④設定器の液晶表示部にメニュー画面が表示されます。
- ⑤設定操作をします。
- ⑥設定終了後設定器の電源スイッチをOFFにします。
電池が入っている場合は、電源をOFFにせずに接続して他のスイッチを設定することができます。
- ⑦スイッチからプラグを抜きます。
- ⑧スイッチの化粧カバーを取付けます。

制御T/U、入力T/Uの場合



- ①T/Uの設定用ジャックカバーを開けます。
- ②設定器の信号線プラグをT/Uのジャックに差し込みます。差し込み方向に注意してください。
- ③設定器の電源スイッチをONにします。
システム稼働中はMESL伝送線より給電されます。
(一部T/Uは端末器電源より供給されます)
- ④設定器の液晶表示部にメニュー画面が表示されます。
- ⑤設定操作をします。
- ⑥設定終了後設定器の電源スイッチをOFFにします。
電池が入っている場合は、電源をOFFにせずに接続して他のT/Uを設定することができます。
- ⑦T/Uのジャックからプラグを抜きます。
- ⑧T/Uの設定用ジャックカバーを閉じます。

注意

設定器を同時に2台以上接続して割付設定したり、リモコン主操作器と設定器を同時に使用すると誤った割付になる場合があります。
機能/アドレス設定を行う場合の複数台の同時設定は可能です。

メニュー画面

設定器の電源スイッチをONすると、下図のいずれかの画面が表示されます。

メニュー	V2. 1
1. 機能/アドレス設定	
2. スイッチ割付設定	
3. 入力T/U割付設定	
4. チェック機能	

MESLリモコンシステム
伝送ユニットTMUD10NA
またはTMUD20NA使用時

メニュー	V2. 1
1. 機能/アドレス設定	
2. チェック機能	

左記以外の時

使用上のご注意

信号線接続-----信号線をフリーアドレス設定器、スイッチ及びT/Uに接続する際は、逆差しや無理なごじりをしないようご注意ください。設定中に通信エラーになる場合は、再度差し込みを確認してください。

MESL信号線消費電流(最大50mA)を考慮して接続してください。

使用乾電池-----単4アルカリ電池1.5V×4本をご使用ください。

マンガン電池もご使用いただけますが、ご利用できる期間が短くなります。

割付設定-----MESLリモコンシステムでスイッチ割付設定、入力T/U割付設定、チェック機能を行う場合は、伝送ユニットの電源を立ち上げてから約1分以上経過した後に、設定器の電源をONにしてください。

(伝送ユニットはTMUD10NA又はTMUD20NAに限ります。)

スイッチの機能／アドレス設定方法

- ①スイッチに設定器を接続する
フリーアドレス設定器の接続方法に従い
スイッチに信号線を接続します。

メニュー

1. 機能／アドレス設定
2. スイッチ機能

- ②機能／アドレス設定を選択する
メニュー画面の1. 機能／アドレス設定をカーソルキー▼▲で選択し、**確定**キーを押します。

機能／アドレス設定

1. スイッチの設定
2. 制御T/Uの設定
3. 入力T/Uの設定

確定

- ③設定する機器の選択
メニュー画面の中の1. スイッチの設定をカーソルキー▼▲で選択し、**確定**キーを押します。

機能 アドレス 時間(分)

確定

- ④設定内容の確認
確認キーを押すとピッと鳴って、既に設定されている場合は設定内容が表示されます。

機能 アドレス 時間(分)

確認

- ⑤機能を選択する
+1(−1)キーを押して機能を選択します。
+1キーを押すことに、
個別 → グループ → パターンの調光 → オールオン → オールオフ → 個別と変わります。
(−1)キーは逆となります。
調光は、機能欄の一番上にカーソルがある場合に設定できます。

例 グループに設定

機能 アドレス 時間(分)

+1 +1

- ⑥アドレスを入力する
カーソルキーでアドレス欄にカーソルを移動し、+10 −10 +1 −1キーを使ってアドレスを入力します。
1個目の機能、アドレスを入力した時点で(カーソルがアドレス欄にある時)、**順送り**キーを押すと、2個目以降に同一機能で+1したアドレスが設定されます。

例 1 1 − 1 に設定

機能 アドレス 時間(分)

+10 +1 +1
+1 +1

- ⑦時間を設定する
タイマー時間を設定する場合は時間の欄にカーソルを移動し、+1 −1キーでタイマー種類を選択します。
+1キーを押す毎に、
一時0.5 → 一時1 → 一時2 → 一時3 → 一時5 →
一時10 → 一時15 → 一時30 → 一時60 → 一時120 →
遅延0.5 → 遅延1 → 遅延2 → 遅延3 → 遅延5 →
遅延10 → 遅延15 → 遅延30 → 遅延60 → 遅延120

例 一時点灯 1 分に設定

機能 アドレス 時間(分)

+1 +1

- ⑧設定データを送信する
全ての入力を終えたら、**送信**キーを押すとピッと鳴って設定内容がスイッチに記憶されます。
続けて他のスイッチの設定を行う場合は、信号線プラグを設定したいスイッチに差し換えて④～⑧(電池が入っている場合)を繰り返してください。

■ 制御 T / U の機能 / アドレス設定方法

- ①制御 T / U に設定器を接続する
フリーアドレス設定器の接続方法に従い
制御 T / U に信号線を接続します。

メニュー
1. 機能 / アドレス設定
2. スイッチ機能

- ②機能 / アドレス設定を選択する
メニュー画面の 1. 機能 / アドレス設定をカーソルキー $\blacktriangledown$ $\blacktriangle$ で選択し、**確定** キーを押します。



機能 / アドレス設定
1. スイッチの設定
2. 制御 T / U の設定
3. 入力 T / U の設定

- ③設定する機器の選択
メニュー画面の中の 2. 制御 T / U の設定をカーソルキー $\blacktriangledown$ $\blacktriangle$ で選択し、**確定** キーを押します。



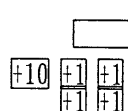
アドレス	$\triangle$ 時間	∇ 時間

- ④設定内容の確認
確認キーを押すとピッと鳴って、既に設定されている場合は設定内容が表示されます。



アドレス	$\triangle$ 時間	∇ 時間

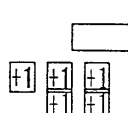
- ⑤アドレスを入力する
カーソルキーでアドレス欄にカーソルを移動し ± 10 ± 1 ± 1 キーを使ってアドレスを入力します。1 個目の機能、アドレスを入力した時点で順送りキーを押すと、2 個目以降に同一機能で + 1 したアドレスが設定されます。



例 1 1 - 1 に設定

アドレス	$\triangle$ 時間	∇ 時間
1 1 - 1		

- ⑥フェードイン時間を設定する
フェードイン時間を設定する場合は、時間の欄にカーソルを移動して ± 10 ± 10 ± 1 ± 1 キーで時間を入力します。
何も入力しない場合は 0 秒として設定されます。



例 フェードイン時間 5 秒

アドレス	$\triangle$ 時間	∇ 時間
1 1 - 1	5 秒	

- ⑦フェードアウト時間を設定する
フェードアウト時間を設定する場合は、時間の欄にカーソルを移動して ± 10 ± 10 ± 1 ± 1 キーで時間を入力します。
何も入力しない場合は 0 秒として設定されます。



例 フェードアウト時間 10 秒

アドレス	$\triangle$ 時間	∇ 時間
1 1 - 1	5 秒	10 秒

- ⑧設定データを送信する
全ての入力を終えたら、**送信** キーを押すとピッと鳴って設定内容が制御 T / U に記憶されます。
続けて他の入力 T / U の設定を行う場合は、信号線プラグを設定したい入力 T / U に差し換えて④～⑧（電池が入っている場合）を繰り返してください。

■ 入力T/Uの機能/アドレス設定方法

- ①入力T/Uに設定器を接続する
フリーアドレス設定器の接続方法に従い
入力T/Uに信号線を接続します。

メニュー
1. 機能/アドレス設定
2. スイッチ機能

- ②機能/アドレス設定を選択する
メニュー画面の1. 機能/アドレス設定をカーソルキー▼▲で選択し、**確定**キーを押します。



機能/アドレス設定
1. スイッチの設定
2. 制御T/Uの設定
3. 入力T/Uの設定

- ③設定する機器の選択
メニュー画面の中の3. 入力T/Uの設定をカーソルキー▼▲で選択し、**確定**キーを押します。



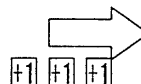
機能	アドレス	

- ④設定内容の確認
確認キーを押すとビッと鳴って、既に設定されている場合は設定内容が表示されます。



機能	アドレス	

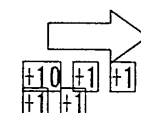
- ⑤機能を選択する
+1(-1)キーを押して機能を選択します。
+1キーを押すごとに、
監視 → 個別 → グループ → パターン → 強制 → 監視と変わります。
(-1キーは逆となります。)
調光は、機能欄の一番上にカーソルがある場合に設定できます。



例 グループに設定

機能	アドレス	
グループ		

- ⑥アドレスを入力する
カーソルキーでアドレス欄にカーソルを移動し、+10 -10 +1 -1キーを使ってアドレスアドレスを入力します。
1個目の機能、アドレスを入力した時点で(カーソルがアドレス欄にある時)、**順送り**キーを押すと、2個目以降に同一機能で+1したアドレスが設定されます。



例 11-1に設定

機能	アドレス	
グループ	11-1	

- ⑦設定データを送信する
全ての入力を終わったら、**送信**キーを押すとビッと鳴って設定内容が入力T/Uに記憶されます。
続けて他の入力T/Uの設定を行う場合は、信号線プラグを設定したい入力T/Uに差し換えて④～⑦(電池が入っている場合)を繰り返してください。

■ グループ割付設定

①スイッチに設定器を接続する

フリーアドレス設定器の接続方法に従いスイッチに設定器信号線を接続します。
既に設定器を接続済みで他の設定操作を行っていた場合はメニューキーを押してメニュー画面にしてください。

メニュー

1. 機能／アドレス設定
2. **スイッチ割付設定**
3. 入力T/U割付設定
4. チェック機能

②スイッチ割付設定を選択する

メニュー画面の2. スイッチ割付設定をカーソルキー **▼** **▲** で選択し、**確定**キーを押します。

スイッチ割付設定

1. **グループ割付設定**
2. パターン割付設定
3. 調光割付設定
4. シーン割付設定



③グループ割付設定を選択する

1. グループ割付設定を選択し、**確定**キーを押します。

グループ番号



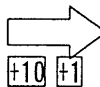
④グループ番号を入力する

設定したいグループスイッチのアドレスを**+10**
-10 **+1** **-1** キーを使って入力します。

例 10-2を入力

グループ番号

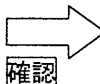
10-2



⑤設定内容の確認

確認キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号が表示されます。
表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー **▲** **▼** を使って画面を1行ずつスクロールすることができます。

グループ番号 10-2

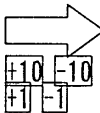


⑥負荷回路番号を入力する

割付したい負荷回路番号（端末器アドレス）を
+10 **-10** **+1** **-1** キーを使って入力します。

グループ番号 10-2

1-1 1-2 3-1 **8-2**



⑦割付データを送信する

割付したい負荷回路番号を全て入力し終わったら、**送信** キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに割付内容を送信し記憶します。
続けて次のグループ割付を行う場合は、④～⑦を繰り返します。

①スイッチに設定器を接続する

②スイッチ割付設定を選択する

③パターン割付設定を選択する

カーソルキー▲▼で2. パターン割付設定を選択し、**確定**キーを押します。

→ **確定**

パターン番号	

④パターン番号を入力する

設定したいパターンスイッチのアドレスを**+10**
-10 **+1** **-1** キーを使って入力します。

例 19-4を入力

+10 +10 -1

パターン番号 19-4	

⑤設定内容の確認

確認キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号、設定点灯状態と調光レベルが表示されます。表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー▲▼を使って画面を1行ずつスクロールすることができます。

→ **確認**

パターン番号 19-4	

⑥負荷回路番号を入力する

割付したい負荷回路番号（端末器アドレス）を
+10 **-10** **+1** **-1** キーを使って入力します。

例 0-1を入力

+1

パターン番号 19-4	
0-1 ● 0	

⑦点灯状態を設定する

点灯 キーまたは**消灯** キーで点灯状態を決めます。
○で点灯
●で消灯です。

例 点灯に設定

→ **点灯**

パターン番号 19-4	
0-1 ○100	

⑧調光レベルを設定する

調光アップ キーまたは**調光ダウン** キーで調光レベルを設定してください。調光レベルは0～100段階の範囲で1段階刻みで設定できます。ON/OFF端末器の場合は、調光レベルの設定はありません。

例 90%に設定

→ **ダウン**

パターン番号 19-4	
0-1 ○90	

⑨割付データを送信する

⑥～⑧により割付した内容を全て入力したら、**送信**キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに割付内容を送信し記憶します。シーン割付設定の場合は、負荷が点・消灯されます。続けて次のパターン割付を行う場合は、④～⑧を繰り返します。

調光割付設定

①スイッチに設定器を接続する

②スイッチ割付設定を選択する

③調光割付設定を選択する

カーソルキー $\blacktriangledown$ $\blacktriangle$ で 3. 調光割付設定を選択し、**確定** キーを押します。



調光番号			

④調光番号を入力する

設定したい調光スイッチのアドレスを $\boxed{+10}$ $\boxed{-10}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ キーを使って入力します。



例 0 - 2 を入力

調光番号			
		0 - 2	

⑤設定内容の確認

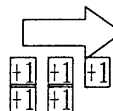
確認 キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号が表示されます。表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー $\blacktriangle$ $\blacktriangledown$ を使って画面を 1 行ずつスクロールすることができます。



調光番号			
	0 - 2		

⑥負荷回路番号を入力する

割付したい負荷回路番号（調光端末器アドレス）を $\boxed{+10}$ $\boxed{-10}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ キーを使って入力します。



例 1 - 1 に設定

調光番号			
	0 - 2		
1-1			

⑦割付データを送信する

割付したい負荷回路番号を全て入力し終わったら、**送信** キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに割付内容を送信し記憶します。続けて次の調光割付を行う場合は、④～⑦を繰り返します。



調光番号			
	0 - 2		
1-1	2-1	2-2	2-3
2-4	12-1	12-2	12-3
12-4			

強制パターン割付設定

- ①スイッチもしくは制御T/U、入力T/Uに設定器を接続する

メニュー

1. 機能／アドレス設定
2. スイッチ割付設定
3. 入力T/U割付設定
4. チェック機能

- ②入力T/U割付設定を選択する
メニュー画面の3. 入力T/U割付設定をカーソルキー $\blacktriangle$ $\blacktriangledown$ で選択し、**確定**キーを押します。

入力T/U割付設定

1. 強制パターン割付設定
2. 光センサ割付設定

確定

- ③強制パターン割付設定を選択する
カーソルキー $\blacktriangle$ $\blacktriangledown$ で1. 強制パターン割付設定を選択し、**確定**キーを押します。

強制パターン番号

確定

- ④強制パターン番号を入力する
設定したい強制パターン制御用接点入力T/Uのアドレスを $\boxed{+10}$ $\boxed{-10}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ キーを使って入力します。

例 0-4を入力

強制パターン番号 0-4

$\boxed{+1}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ $\boxed{+1}$

- ⑤設定内容の確認
確認キーを押すとピッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号、設定点灯状態と調光レベルが表示されます。表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー $\blacktriangle$ $\blacktriangledown$ を使って画面を1行ずつスクロールすることができます。

強制パターン番号 0-4

確認

- ⑥負荷回路番号を入力する
割付したい負荷回路番号（端末器アドレス）を $\boxed{+10}$ $\boxed{-10}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ キーを使って入力します。

例 0-1を入力

強制パターン番号 0-4

0-1 ● 0

$\boxed{+1}$

- ⑦点灯状態を設定する
点灯 キーまたは**消灯** キーで点灯状態を決めます。
○で点灯
●で消灯です。

例 点灯に設定

強制パターン番号 0-4

0-1 ● 100

点灯

調光端末器の場合、調光レベルを設定しても点灯時は常に100%になります。

- ⑧割付データを送信する

⑥～⑦により割付したい内容を全て入力したら、**送信**キーを押します。ピッと鳴って伝送ユニットに割付内容を送信し記憶します。
続けて次の強制パターン割付を行う場合は、④～⑧を繰り返します。

■ 光センサ割付設定

①スイッチもしくは制御T/U、入力T/Uに設定器を接続する

②入力T/U割付設定を選択する

③光センサ割付設定を選択する

カーソルキー▲▼で2. 光センサ割付設定を選択し、確定キーを押します。

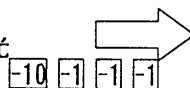


光センサ番号	

④光センサ番号を入力する

設定したいグループ制御用接点入力T/Uのアドレス*を+10 -10 +1 -1 キーを使って入力します。

*グループ制御で使用していないアドレスを光センサ番号として使用してください。光センサ4入力まで設定できます。



例 63-1を入力

光センサ番号 63-1	

⑤設定内容の確認

確認キーを押すとビッと鳴って、既に割付されている場合は負荷回路番号、設定点灯状態と調光レベルが表示されます。表示以上の負荷回路がある場合は、カーソルキー▲▼を使って画面を1行ずつスクロールすることができます。

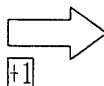


光センサ番号 63-1	

⑥負荷回路番号を入力する (ON/OFF端末器)

割付したい負荷回路番号 (端末器アドレス) を+10 -10 +1 -1 キーを使って入力します。

表示は常に消灯●となります。



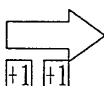
例 0-1を入力

光センサ番号 63-1	
0-1 ●	

⑦負荷回路番号を入力する (調光端末器)

割付したい負荷回路番号 (端末器アドレス) を+10 -10 +1 -1 キーを使って入力します。

表示は常に消灯● 0になります。

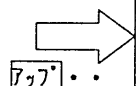


例 0-2を入力

光センサ番号 63-1	
0-1 ●	0-2 ● 0

⑧調光レベルを設定する

調光アップキーまたは調光ダウンキーで調光レベルを設定してください。調光レベルは0～100段階の範囲で1段階刻みで設定できます。ON/OFF端末器の場合は、調光レベルの設定はありません。



例 0-2を50%に設定

光センサ番号 63-4	
0-1 ●	0-2 ○ 50

⑨割付データを送信する

割付したい負荷回路番号、点灯状態、調光レベルを全て入力し終わったら、送信キーを押します。ビッと鳴って伝送ユニットに割付内容を送信し記憶します。続けて次の光センサ割付を行う場合は、③～⑨を繰り返します。

チェック機能

スイッチ機能

- ①スイッチに設定器を接続する
MESLリモコンシステム用のメニュー画面
以外の場合は③を行ってください。

メニュー

1. 機能／アドレス設定
2. スイッチ割付設定
3. 入力T/U割付設定
4. チェック機能

- ②チェック機能を選択する
カーソルキー $\blacktriangledown$ $\blacktriangle$ で4. チェック機能を選択し、**確定** キーを押します。

チェック機能

1. スイッチ機能
2. 照度設定
3. 接続端末

- ③スイッチ機能を選択する
カーソルキー $\blacktriangledown$ $\blacktriangle$ で1. スイッチ機能を選択し、**確定** キーを押します。

スイッチ機能

- ④機能を選択する
 $\boxed{+1}$ ($\boxed{-1}$) キーを押して機能を選択します。
 $\boxed{+1}$ キーを押す毎に、個別→グループ→パターン
→調光→オールオン→オールオフ→照度調整→個別と変わ
ります。($\boxed{-1}$ キーは逆となります。)
4ボタン分までの設定ができます。

例 調光に設定

スイッチ機能

調光 Δ
調光 $\square$
調光 ∇

- ⑤アドレスを入力する
カーソルキーでアドレス欄にカーソルを移動し、 $\boxed{+10}$ $\boxed{-10}$ $\boxed{+1}$ $\boxed{-1}$ キーを使ってアドレスを入力します。
オールオン、オールオフの場合は、アドレスの設定は必要ありません。

例 9-3 に設定

スイッチ機能

調光 Δ
調光 $\square$
調光 ∇

9-3
9-3
9-3

- ⑥スイッチのボタン操作をする

$\boxed{\text{点灯}}$ キーを押すとスイッチの1ボタン目を押した信号を出します。
 $\boxed{\text{消灯}}$ キーを押すとスイッチの2ボタン目を押した信号を出します。
 $\boxed{\text{全点灯}}$ キーを押すとスイッチの3ボタン目を押した信号を出します。
 $\boxed{\text{全消灯}}$ キーを押すとスイッチの4ボタン目を押した信号を出します。
照度調整の場合は $\boxed{\text{アップ}}$ $\boxed{\text{ダウン}}$ キーを押した時、照度アップ信号、照度ダウン信号を出します。

■ チェック機能

照度設定機能

- ①スイッチに設定器を接続する
MESLリモコンシステム用のメニュー画面
以外の場合は③を行ってください。

メニュー
1. 機能／アドレス設定
2. スイッチ割付設定
3. 入力T/U割付設定
4. チェック機能

- ②チェック機能を選択する
カーソルキー   で4. チェック機能を選択し、**確定** キーを押します。

チェック機能
1. スイッチ機能
2. 照度設定
3. 接続端末

- ③照度設定機能を選択する
カーソルキー   で照度設定機能を選択し、**確定** キーを押します。

エリア	照度 (L X)

- ④エリア番号を入力する
    キーを押してエリア番号を入力します。

例 エリア番号を11に設定

エリア	照度 (L X)
11	

- ⑤照度値を確認する
確認 キーを押すとピッと鳴って、既に設定されている場合は照度値が表示されます。

エリア	照度 (L X)
11	

- ⑥照度値を入力する
カーソルキーで照度欄にカーソルを移動し、    キーを使って照度値を入力します。

例 750 L Xに設定

エリア	照度 (L X)
11	750

- ⑦割付データを送信する
設定したいエリア番号と照度値を全て入力し終わったら、**送信** キーを押します。
ピッと鳴って主操作盤に設定内容を送信します。
続けて次の照度設定を行う場合は、④～⑦を繰り返します。

チェック機能

接続端末器

①スイッチに設定器を接続する

②チェック機能を選択する

③接続端末を選択する

カーソルキー   で2. 接続端末器を選択し
確定 キーを押します。
 接続されている端末器アドレスを表示します。

接続端末器			
8-1	8-2	8-3	8-4
9-1	9-2		9-4
17-1	17-2	10-3	10-4
		17-3	17-4

仕 様

電 源	単4アルカリ電池1.5V 4本（別売品） システム稼動中はMESL伝送線より給電
MESL信号 消費電流	40mA (バックライト点灯時 50mA)
機 能	・スイッチの機能、タイマー及びアドレスの設定 機 能：個別制御、グループ制御、パターン制御、 調光、オールオン、オールオフ タイマー：一時点灯、消灯遅延 ・制御T/Uのアドレス及びフェード時間の設定 ・入力T/Uのアドレスの設定 ・スイッチ機能 任意のスイッチとして動作できます。 (タイマー動作は不可) ・照度設定（照度一定制御システム使用時） ・MESLリモコンのみの機能 割付設定機能（グループ、パターン、調光、シーン 強制パターン、光センサ） 接続端末表示
形 状	ハンディタイプ（吊り下げひも付き）
色	オフブラック
付 属 品	信号線（プラグ付き4芯ケーブル）約50cm 1本 本体ケース（ビニール製） 1個 取扱説明書 1部

お手入れのしかた

柔らかい乾いた布で拭いてください。
 汚れがひどい時は、水に浸した布を固くしぼって拭いてください。
 設定器本体はプラスチック製ですので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの
 薬品でふかないでください。